

自治協ニュース

第0108号
発行者
八本松住民自治協議会
R02. 1. 20

温暖化対策しないと 真夏日が増

「エコアクション 八本松2019」開催

主催 エコネットひがしひろしま
共催 自治協環境対策委員会



日々のエコ活動のきっかけになればと話す波田健一氏

12月15日（日）八本松地域センターにおいて、エコネットひがしひろしまと自治協環境対策委員会（委員長 小池恵美子）共催の「エコアクション八本松2019」が開催された。

晴天に恵まれ、屋外では薪ストーブの実演や薪を使ったピザ窯でのピザの試食も行われ、出来立てのピザに来場者は舌鼓を打った。ホールではどんぐりにペイントしてのストラップづくり、また、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーづく

りに大人も子供も楽しんだ。さらに、モバイルミュージアムでは昆虫の標本や水槽に入った水中生物や珍しい世界の昆虫切手もあり、生物多様性を考えてもらうきっかけになった。午後からは気象予

報士・波田健一さんが「異常気象最前線」と題して講演を行った。温暖化対策を行わない場合2100年の全国の天気予報では各地40度以上になり、気温30度以上の真夏日は、東広島で106日間と現在

の倍以上にもなると言う。会場からも温暖化対策として「生ゴミを燃やすとたくさん二酸化炭素が出る。水を切ることも必要だが、市の補助金で生ゴミ処理機を活用する方法もある」、



会場からもエコ活動のアイデア

年頭の「まごころ」



土久岡 住民自治協議会会長

令和の年「子の年」
新年明けましておめ

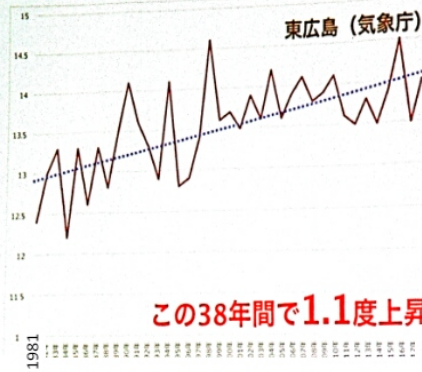
でございませう。本年も八本松住民自治協議会を向卒業よろしくお願ひ致します。本年は、自治協の2年計画の2年目にあたります。協議会の三本柱もそれぞれ組

織の改革と実効性を重視し、特に、地球温暖化が進む中、自然災害の発生に伴う取組みは、防災を中心に災害に対する地域の対応能力を強化し、福祉に関しては、地域に於ける「福祉会」の発足を基軸にし、組織の制度化を

図り、住民サービスや支援活動の充実を促進してまいります。また、環境の分野に於いては、地域に優しい美化を中心とし、防災、福祉と連動しながら地域環境改善に尽力して参ります。総じて、本年度は、

の倍以上に参ります。この38年間で1.1度上昇

東広島は暑くなってきている！



真夏日日数	2009~18	2100
広島	65日	⇒122日
呉	51日	⇒109日
福山	64日	⇒122日
東広島	48日	⇒106日
三次	61日	⇒113日
庄原	53日	⇒97日
世羅	40日	⇒98日

を展覧して参りますので、今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。最後に、本年も地域の皆さまのご健勝と地域の益々の発展を祈念して、年頭のご挨拶と致します。住民自治協議会 会長 土久岡 章治

「ヒートショックの心配もあり、暖房を我慢するのではなく効率的なエアコンを使用するのも方法」等と多くの意見が出た。その他、7・6豪雨災害の記録（改訂版）の上映、今年度設立された環境対策委員会の紹介やエコキッズ大会も行われた。最後にリサイクルバサミ、小豆カイク、災害に活用できるライトや特賞のピザ窯が当たる大抽選会が行われ、大いに盛り上がった。

地域トピックス

日頃の声掛けや見守り活動を報告

ご近所ホット推進員情報交換会 定期的に実施

どんな時でも声掛けを繰り返そう 見守り活動を少しでも前に

八本松みなみ地区福祉会

八本松みなみ地区福祉会（会長 藤原和雄）は、12月29日（日）に「ご近所ホット推進員情報交換会」を行った。

この会は、ご近所ホット推進員（登録者数86人 R1・12・22現在）が日頃の見守り・支え合い活動の状況を報告し、意見交換をとおして、よ的的確な対応を図るため定期的に開催されているもの。



地域別に情報交換する推進員

この日は、34人の推進員が八本松南集会所に集まり、3グループに分かれ、日頃の活動状況の報告と意見交換を行った。意見交換後、各班から、日頃の声掛けや見守り活動状況報告をおし次の活動上の課題があげられ

た。
（1）声をかけづらい人への対応、（2）見守られる側からのアクションも必要、（3）見守る対象範囲の拡大と民生児童委員との分担、（4）災害時の支援対応、（5）推進員の高齢化対応、（6）個別の見守りグループによる情報交換の必要性等の課題が出された。藤原会長は「どんな時でも声掛けを繰り返すことが大切。親しくなれば話がでるようになる」とコメントした。最後に、小田正之副会長が「本日の報告内容や課題を参考

◆ 情報交換の意義

ご近所同士が顔を合わせて情報を交換し合うことで横の連携ができ、重層的に地域活動を行うことができます

- ①活動する上での問題点 ②要望を出し合って問題解決に取り組む
- ③偶数月の最終日曜日 9:30～定期的に行う
- ④近所に見守りが必要な方はいないか情報を共有する

に、見守り活動が少しでも前に進むよう検討したい」と述べ閉会した。

各地で年末特別警戒夜間パトロール 青パト車両で 警戒を呼びかける

八本松中央地区
自主防災会



八本松中央地区自主
防災会（会長 高山徹）

八本松みなみ地区
自主防災会

反省会で「住んで良かった」の意見多出

は、12月27日から3日間夜7時から地区内の年末防犯・防災警戒パトロールを行った。このパトロールは地区内の青パト隊（14人）の協力により行われたもので、拍子木を鳴らしながら青色防犯パトロール車の拡声器で「火のもとや戸締りを確実にしようと呼びかけ団地内を巡回した。27日に参加した青パ

ト隊の方は7人で、2班に分かれ中央地区内の団地を中心に約1時間巡回。巡回を終えて、「異音は認められなかった」と報告があり、高山会長は「今回初めての試みで、今後も継続して実施したい」と語った。また、当日は「おやじの会」の方も青パトで校区内のパトロールを実施した。



八本松みなみ地区自主
防災会（会長 横井國興）は、12月29日か

ら2日間、夜8時から1時間、恒例の警戒パトロールを行った。今回は、延べ32人の地域の方が参加した。特に、初日（29日）のパトロールは、寒さや雨にもめげず、拍子木に合わせ「火の用心」と連呼し地域内の団地をパトロールした。パトロールを終え、全員が温かい「おでん」等があるまわれ、親睦を兼ねた情報交換が行

われ、「地域が活発で近所付き合いもよく、この地域に住んで良かった」との意見が多く出された。また、最後まで拍子木を持って「しんがり」につとめた山崎智香さんが八小2年生と聞きその頑張りや皆さん拍手を送った。今年も、参加者の連帯感の醸成に大変有意義な夜間パトロールとなった。